

株式会社 JVCケンウッド

2023年1月18日

二輪や船舶、電車など、さまざまなモビリティ分野で利用できる新たなデバイスとして展開
防塵・防水仕様^{※1}の通信型ドライブレコーダー（モビリティカメラ）を開発

株式会社 JVC ケンウッドは、二輪や船舶、電車など、さまざまなモビリティ分野で利用できる新たなデバイスとして、防塵・防水仕様^{※1}の通信型ドライブレコーダー（モビリティカメラ）を開発しました。本機は、顧客のニーズに応じて外部システムとの連携を自由にカスタマイズでき、短期間での IoT・AI ベースのテレマティクスサービス開発を可能とします。

※1： JIS 防塵保護等級 6 級・防水保護等級 7 級（IP67）相当

■ **防塵・防水仕様^{※1}の通信型ドライブレコーダー（モビリティカメラ）の概要**

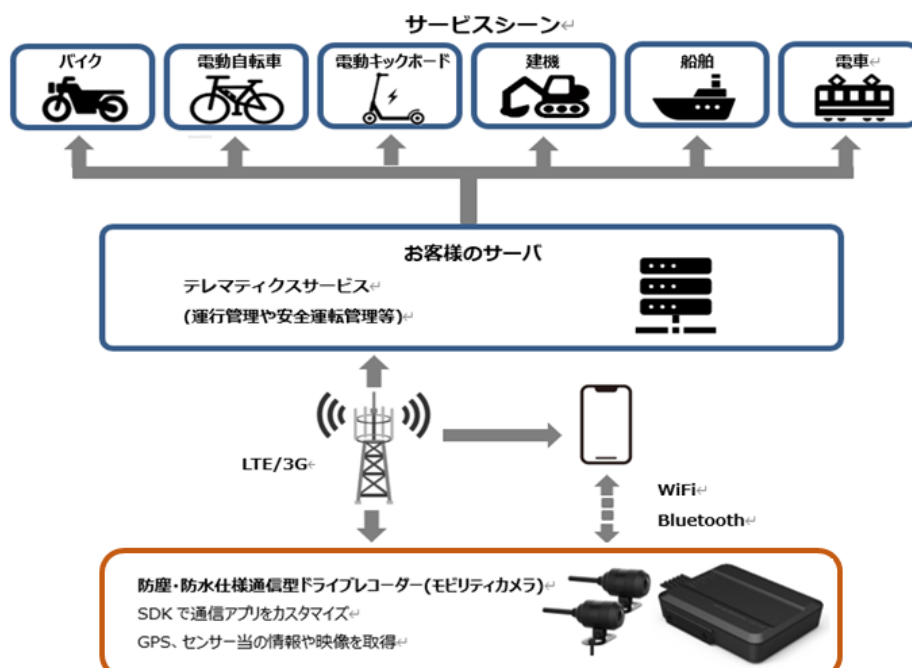
当社は、長年培ってきた映像・光学技術と車載技術の融合により、ドライブレコーダーには欠かせない高機能・高信頼性・高画質録画を実現し、自動車保険やライドシェア、トラック運送業界など、さまざまな分野との連携により、通信型ドライブレコーダーを核とするテレマティクスソリューションの提供を推進してきました。

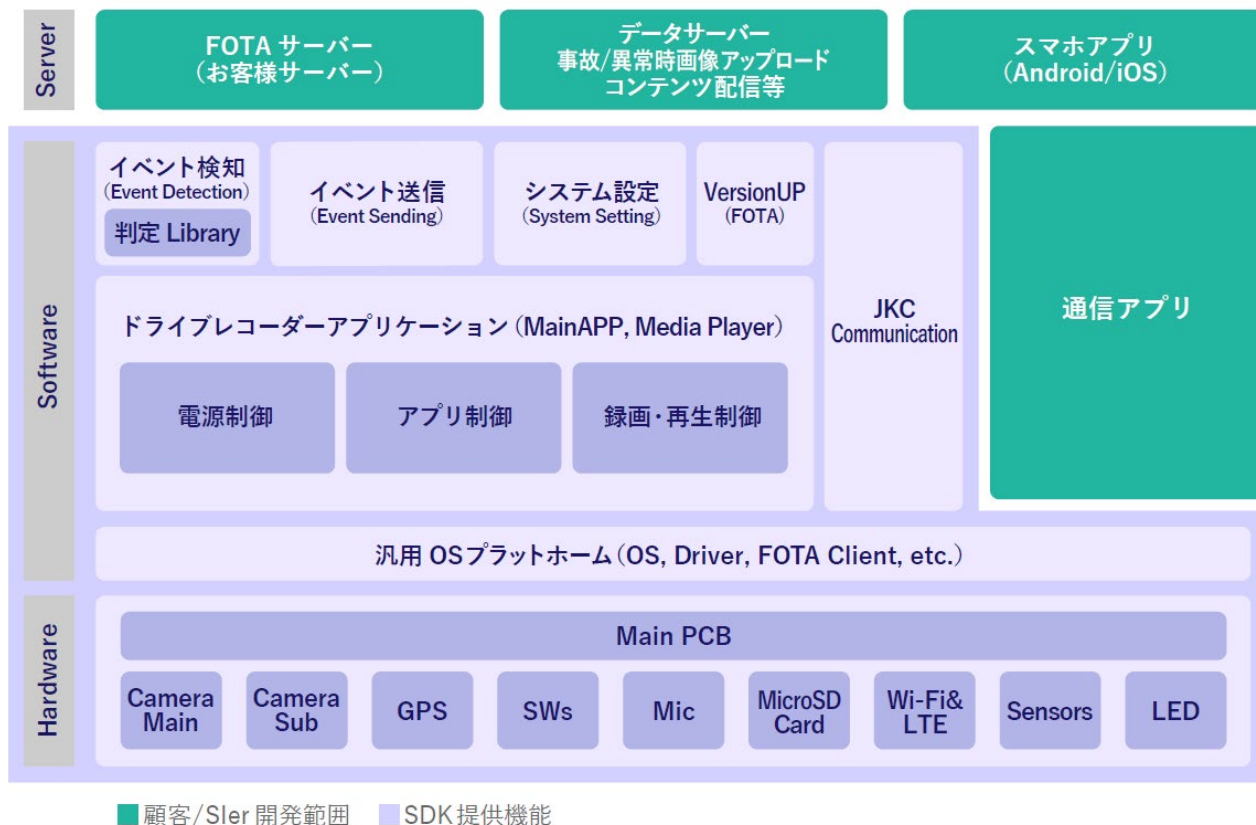


<「STZ-DR30」>

近年、車の運転時に映像を記録するだけでなく、国土交通省が小型の遊覧船などを対象にドライブレコーダーの設置を義務づける方針を固めるなど、さまざまな乗り物（モビリティ）においても万が一のために映像を記録する気運が高まり、車内に加えて車外や屋外での使用に対応したドライブレコーダーへの要望が多く寄せられていました。そこで当社は、バイクや自転車などの二輪や、船舶や電車、建設機械の外へへの設置など、風雨や塵・埃などにさらされる環境下での使用に対応できる新たな撮影デバイスとして、防塵・防水仕様^{※1}の通信型ドライブレコーダー（モビリティカメラ）をこのたび開発しました。

本機は、過酷な状況下でも、フル HD 画質/広角撮影、および HDR 対応により高画質な映像記録を実現するとともに、汎用 OS の採用により、衝撃検知や運転支援機能などの独自アプリケーションもオプションとして組み込むことができます。また、当社開発の Software Development Kit (SDK) により、フリートマネジメントシステムをはじめ、さまざまなシステムともデータを容易に連携できるため、短期間での IoT・AI ベースのテレマティクスサービス開発を可能とします。さらに、LTE、および Wi-Fi[®]/Bluetooth[®]通信に対応するとともに、スマートフォンなどのデバイスとの接続もサポートしています。





今後も当社は、本デバイスを軸に、IoT 製品やエッジ AI 製品なども組み合わせながら、二輪や船舶、電車など幅広いモビリティ分野に向けてドライバーに安全・安心を提供するテレマティクスソリューションを提案していきます。

なお、本機は1月25日(水)から27日(金)まで、東京ビッグサイトで開催される「第15回 オートモーティブ ワールド -クルマの先端技術 展-」内の「第3回 MaaS EXPO -統合型モビリティサービス[開発]・[活用]展-」に初展示します。

<商標について>

- ・Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。
- ・Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED™ はWi-Fi Alliance®の商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社JVCケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IRグループ
TEL : 045-444-5232
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

【営業窓口】 株式会社JVCケンウッド テレマティクスサービス事業部 企画営業2部
E-mail: info_dxps2@jvckenwood.com
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地